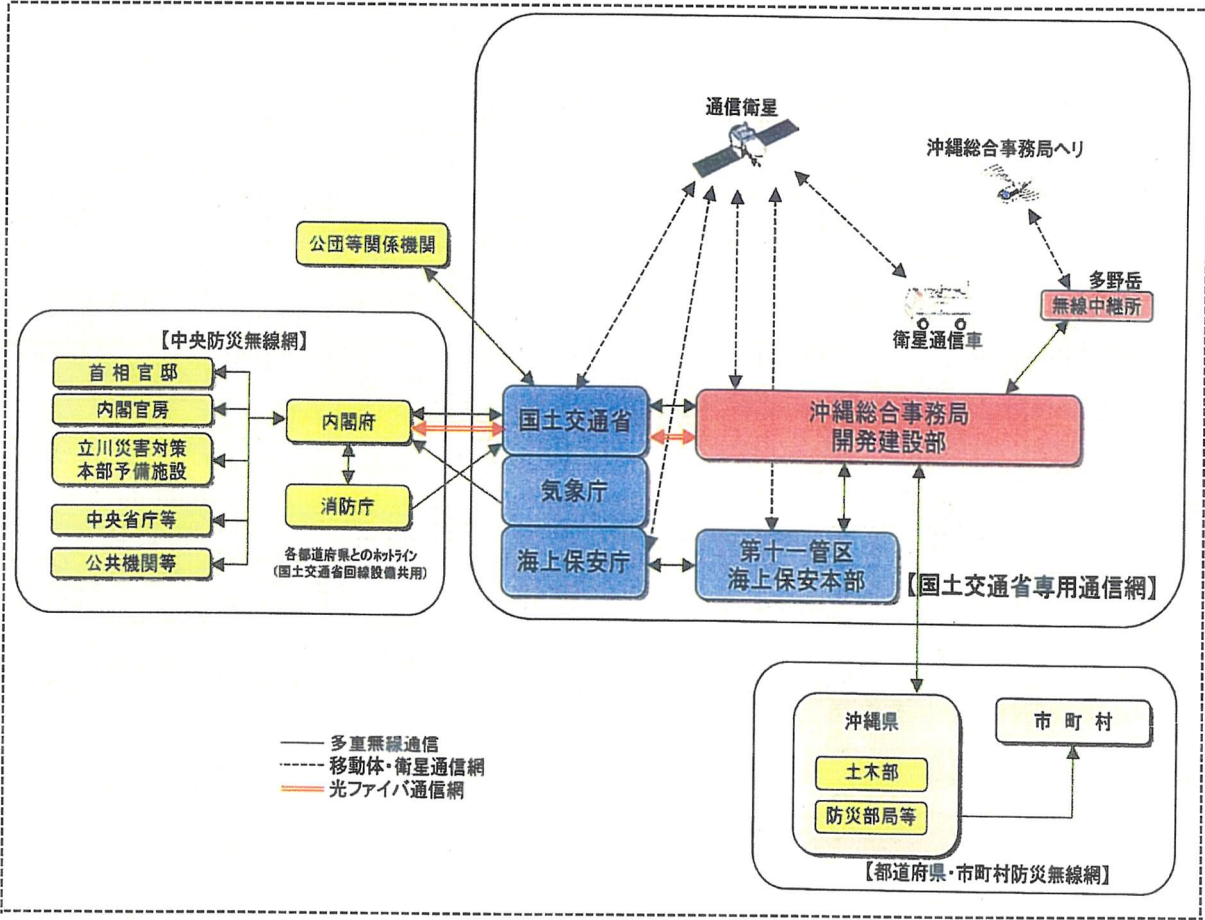


平成18年5月18日
沖縄総合事務局
定例記者懇談会 於

防災訓練の実施

沖縄総合事務局では、6月8日(木)に防災訓練を計画しておりますのでお知らせします。沖縄総合事務局開発建設部を主体とし、関係外部機関の協力のもと、災害に強い体制の構築を目指して実施するもので、今年度より導入した防災ヘリからの画像情報等についてリアルタイムで画像を受信し、関係機関への提供も行うこととしています。訓練の主たる目的は、集中豪雨等における「災害関連情報等の迅速かつ確実な情報伝達の確認」と併せて「トリアージの概念を取り入れた道路管理者連携の構築」等としております。



連絡先：沖縄総合事務局 開発建設部 防災対策官 大城 良英
電話：098-862-1457 (内線3125)

沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課課長 平良 正光
電話：098-866-0408 (内線3311)

1. 訓練趣旨

大規模災害時等において災害を軽減するためには、関係機関相互の関連情報等が、迅速かつ的確に伝達されることが重要である。今回の訓練では災害関連情報等が迅速かつ確実に伝達されるか、として、特に「ヘリ導入に伴う画像配信実運用」及び「トリアージの概念を取り入れた道路管理者連携」をポイントとして行う。

※トリアージとは：災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や程度に応じ、適切な搬送・治療など救急活動を行うことです。この考え方を道路の復旧活動に応用しようと訓練を行うものです。

2. 訓練実施日時

平成18年6月8日（木） 午前9時～12時頃まで

3. 参加機関

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局開発建設部、沖縄県等関係機関

4. 訓練想定地域

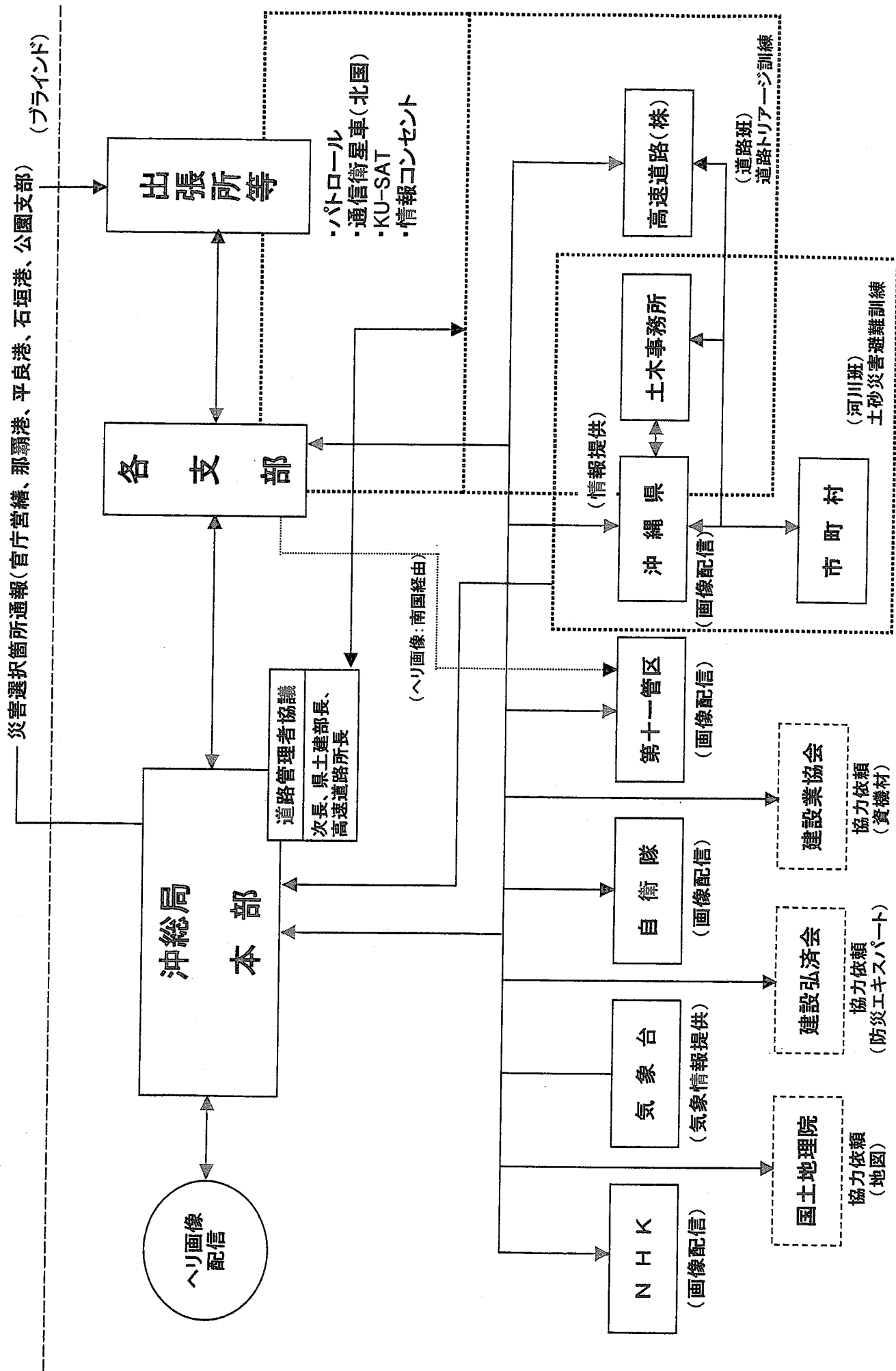
梅雨前線に伴う集中豪雨の影響により、沖縄本島、宮古島、石垣島の各地で被害が発生した。

5. 平成18年度防災訓練重点項目

- 1)ヘリ画像送配信訓練
- 2)被災箇所の現地調査実施
- 3)デジタルカメラ写真メールなどを活用した被災箇所写真の伝達訓練
- 4)トリアージ適用訓練（道路管理者連携）
- 5)土砂災害避難訓練（地方自治体連携）
- 6)情報伝達訓練（関係機関連携等）

H18年度6月防災訓練実施概要フロー(案)

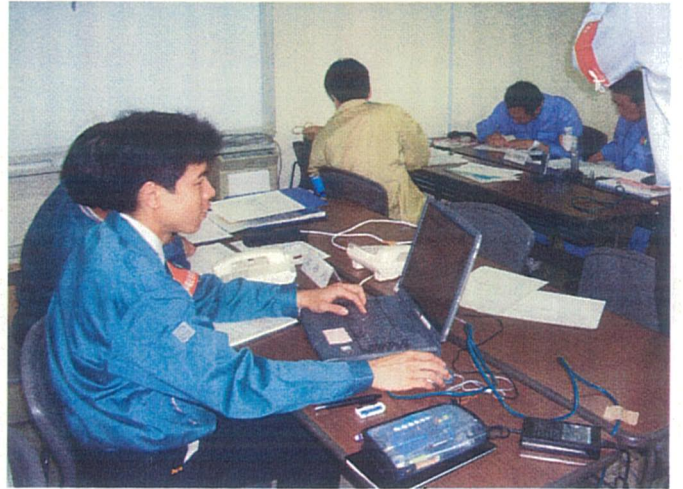
H18.5.2



防災訓練実施状況 (H17年5月)

参考

【本部設置状況】



平成18年5月18日

道路トリアージの考え方

- ① 覚書の取り交わし。
 - ・調整会議の開催（国、県、高速）

- ② 優先区間を決める。
 - ・南北連結を優先。アクセス道路の優先の考え方整理（市町村所在地、備蓄基地、病院等）
 - ・資機材配置状況
 - ・72時間以内の優先復旧区間

- ③ 優先区間についての県民への周知。
 - ・優先整備の必要性
 - ・放置せざるを得ない理由
 - ・マスコミを通じて県民に周知

- ④ 業者を優先的に優先区間へ配備。
 - ・被災直後の業者と資機材の奪い合いをなくす。
 - ・既に「ツバ付け」（緊急口頭指示）があった場合も、配備をやり直す。

※トリアージとは、

災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や程度に応じ、適切な搬送・治療など救急活動を行うことである。「道路トリアージ」とは、この考え方を道路の復旧活動に応用するものである。

道路トリアージ概念説明図

参考

凡例

- ✕ ……被災箇所
- ……防災拠点

概ねの復旧日数は…
 大は一週間以上
 中は三日から一週間程度
 小は三日以内

